

現在、京都大学大学院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻で、国立循環器病研究センターバイオバンクご協力者からいただきました試料・診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。この研究ではご提供していただいた試料等を用いて解析し、データとしてまとめるものであり、ご本人またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身がバイオバンクに提供された試料・診療情報等を「この研究課題に対しては利用して欲しくない」と思われた場合には、バイオバンク事務局（末尾）にてそのお申し出を受け付けておりますので、ご参加時にお渡ししました協力意思（同意）の撤回書をバイオバンク事務局までご提出いただくか、もしくはバイオバンク事務局までその旨ご連絡下さい。

【研究課題名】

微小流体デバイスを用いた臓器モデルチップの創製

【研究対象者】

2004年1月より2023年3月までの間に、国立循環器病研究センターにおいて脳の剖検を受けられた方

【利用している試料・診療情報等】

（試料）脳組織 病理切片

（診療情報等）性別、年齢、病理所見、感染症の有無

【試料・診療情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【利用の目的】

虚血性脳卒中中の *in vitro* モデル作製において、虚血部位における発現遺伝子プロファイルを比較することにより、よりヒトの脳における脳卒中状態の再現と解明を目的としています。国立循環器病研究センターからの脳組織切片試料については、薄切組織の遺伝子発現解析および免疫染色を実施します。

【遺伝子解析研究】（有 無 ）

【共同利用研究機関・共同利用責任者】

京都大学大学院 工学研究科マイクロエンジニアリング専攻 教授 横川隆司

【外部機関への情報等の提供】

以下の機関に脳組織切片を提供します。提供する際は、あなたのお名前等は記載せず、個人を直接特定できないようにします。

機関名：京都大学

提供方法：郵送・宅配

【バイオバンクでの試料・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした試料や診療情報等には特定の個人を直ちに識別できないよう加工を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。

バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日9時～16時）
電話：06-6170-1070（内線31050）、ファックス：06-6170-2179
Eメール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp

【利用期間】

研究許可日より2024年3月までの間（予定）

【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：京都大学大学院 工学研究科マイクロエンジニアリング専攻 教授 横川隆司

研究内容の問い合わせ担当者：国立循環器病研究センターバイオバンク 室長 富田努

電話 06-6170-1070（代表）（内線60056）（応対可能時間：平日9時～16時）

【バイオバンクでの試料・診療情報等の取扱い】

バイオバンクでは、お預かりした試料や診療情報等には特定の個人を直ちに識別できないよう加工を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できない形にしたうえで、センター倫理委員会の承認を受けた各研究課題に対して払い出しを行っております。

バイオバンクでの取扱いの詳細をお知りになりたい方は、下記バイオバンク事務局までお問い合わせください。

【バイオバンク事務局】（応対可能時間：平日9時～16時）

電話：06-6170-1070（内線31050）、ファックス：06-6170-2179

Eメール：biobank-jimu@ml.ncvc.go.jp